

問 感震ブレーカー設置で 電気火災予防を

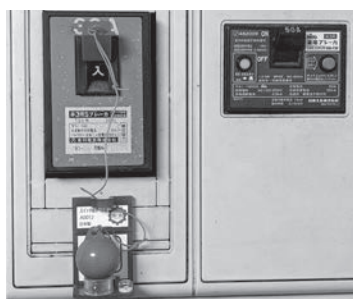
答 9年度地域連携で住宅防火対策を展開

問 平成27年と令和6年の議会質問で、電気火災予防になる感震ブレーカー（地震で強い揺れを感じた時電気を遮断する）の設置普及を求めた。国は令和6年に、県も令和7年にそれぞれ防災計画を改訂して、感震ブレーカーの普及を進める方針を示した。県は今年度、市町村を実施主体とする感震ブレーカーの設置に係る補助制度を創設した。制度導入にあたって見解を伺う。

答 感震ブレーカーは地震発生時の電気火災の予防に有効で、



公明党
おかざき さとる 議員
岡崎 悟



電気火災を防止する簡易型感震ブレーカー

出火抑制に一定の効果があると認識。機器の種類が多様で、設置方法によって価格帯に幅があり、効果的な支援を行うためには、需要の動向や設置後の維持管理等の検討も必要。感震ブレーカーへの補助制度の導入に当たっては、より効果的な住宅防火対策の支援も視野に入れ、早ければ来年度の実施を検討したい。自治会や自主防災組織への周知と広報紙による啓発を行い、改訂を予定するハザードマップにおいても情報を掲載したい。

問 自転車と歩行者の 安全な通行環境は

答 安全確保へ環境整備を進める

問 青切符制度の導入により自転車の交通違反への対応が見直されている中、村として、自転車の安全確保と歩行者の安心を両立させる交通環境を、どのように具体的に形成していくのか伺う。

答 自転車と歩行者の安心の両立は、それぞれを物理的に分離することが最も効果的であると認識している。一方で、幅員の制約がある生活道路においてはグリーンベルトを設置し、歩行空間の安全を確保している。

問 青切符制度の導入により、村として生活



新政とうかい
まつえ ひであき 議員
松江 秀明



歩行空間確保のためのグリーンベルトが施された村道

道路や通学路における安全環境に生じている変化をどのように適切に把握していくのか、また、どのように具体的なかつ効果的な安全対策を講じていくのか伺う。

答 子どもたちの下校時刻に合わせ、青色パトロール車による巡回を実施し実態の把握に努めている。仮に危険な状況等を確認した場合には、自転車利用者等に声掛けを行うなど、事故の未然防止と安全環境の確保に努めている。